（９）グローバル英語について

＜仮説＞

少人数制の授業で発話の機会を増やし、native speaker の英語に多く触れることにより、４技能のうち、特にスピーキング、リスニングの力を効果的に伸ばすことができるのではないか。対話を含む活動を通じて、他者の意見を尊重しながら自分の意見を論理的に発信する力を伸ばし、グローバル社会で求められるコミュニケーション能力の土台を培い、問題解決に向けて協働して努力する姿勢の育成につなげることができるのではないか、と考える。

＜実施方法＞

週１時間、40 人のクラスを 20 人ずつの２講座に分け、それぞれの講座で JTE と ALT の２人がティームティーチングの形式で授業を行う。

毎時間リスニング練習を行い、リスニング力の強化を図る。身近な話題について、単独でのスピーチ、ペアワーク、グループワークを通じて、自分の意見を理由を添えて聞き手にわかりやすく伝える方法、人の意見や立場を尊重しながらグループ内で協力して対話を継続する方法を学び、学期末のパフォーマンステストで到達度をはかる。

＜授業の実施状況＞

月	時間	学習項目	学習内容
4		在宅学習課題	・ALT の自己紹介動画を視聴し、内容をまとめる。 ・英語で 50 語程度の自己紹介を書く。
6	1	ガイダンス	・科目の目標、学習の留意点、評価方法などについて理解する。
7	3	会話活動（スピーキング） Q&A 活動（リスニング・ライティング）	・ペアもしくは数人のグループに分かれて、活用場面を想定した簡単な会話形式の言語活動を行う。 ・ALT による英語での質問を聞き取る。 ・与えられた質問に対して、自分の考えを作文にまとめる。 ・作文した内容をクラスで共有する。
9	1	パフォーマンステスト	・Q&A 活動のタイムドライティング、ALT の自己紹介に関するリスニングテストを実施。
10	4	状況描写活動（スピーキング） 「１分間スピーチ」活動導入 スピーチ作成	・複数の登場人物、動作が描かれたイラストを用意し、描かれている状況についてペアで会話する。 ・状況を描写する際に役立つ表現を学ぶ。 ・効果的なスピーチの構成を学ぶ。 ・ALT のモデルスピーチから、スピーチの仕方を学ぶ。 ・以下からテーマを設定し、スピーチの原稿を作成する。 「幸せになるために最も大切なこと」 「人生において成功するために最も大切なこと」 「目標や夢を実現させるために最も大切なこと」 ・ALT による添削を受けて、スピーチ原稿を改良する。

11	4	リスニング活動 スピーチ練習	・以下のテーマに沿った対話や説明を聞き取る。 ①写真描写　②店舗での注文 ③対話への応答　④表の読み取り ・リスニングにおいて重要な音声面の特徴や、日常会話で役に立つ表現等を学ぶ。 ・スピーチの内容を聴衆に効果的に伝える方法を知る。 ・学んだ方法をもとに、スピーチの練習をする。
1	1	スピーチコンテスト	・各クラスで１分間スピーチを行う。（ALT・JTE で評価）
2	4	リスニング活動 ディスカッション導入 ディスカッション実践	・以下のテーマに沿った対話や説明を聞き取る。 ⑤健康　⑥状況的な対話への応答 ⑦グラフの読み取り　⑧数値計算 ・リスニングにおいて重要な音声面の特徴や、日常会話で役に立つ表現等を学ぶ。 ・ディスカッションを進める上で役立つ表現を学ぶ。 ・以下のトピックについて、ブレーンストーミングをして自分の考えを整理する。 「ペットを飼うなら何が良いか」 ・ブレーンストーミングで整理した内容をもとに、ペアで意見交換する。 ・以下のトピックについて、ブレーンストーミングをして自分の考えを整理する。 「無人島に行くなら何を持って行くか」 「学校をよりよい学びの場にするために何が出来るか」 「クラスメートと仲良くするために何が出来るか」 ・ブレーンストーミングで整理した内容をもとに、４人グループで意見交換する。
	1	パフォーマンステスト	・以下のトピックについて５分間、４人グループでディスカッションを行う。（ALT・JTE で評価） 「奈良に住む外国人が快適に暮らせるようにするために何が出来るか」

＜スピーチ発表の授業＞

＜成果と課題＞

昨年度と同様にクラスの規模を縮小して授業を行うことで、一人一人の生徒に目が行き届きやすくなり、より細かい助言・指導をすることができた。今年度はコロナ感染予防のために活動が大幅に制限され、年度当初に計画していたものも随時変更・修正する必要があり苦労したが、授業を続けていく中で自己表現の幅が広がり、発展的に会話を継続することができるようになってきた生徒が多く見られた。

１学期は在宅学習や分散授業が入ったため、従来に比べ授業時間数を十分に確保できなかった。また、対面で会話をすることは極力避けた方がよいということから、リスニングとライティングに重点を置いた活動を実施した。「間違っても構わないから、たくさん英文を書いてみよう」と指導するところから始め、書き上がった英文を生徒間で共有させることでお互いに刺激を受けて内容や文法のブラッシュアップが図られた。質問に対する２分の解答時間で 100 語を超える英文を書く生徒もいた。課題としては、生徒が英語の質問を聴き取ることが出来なかった場合にライティング活動へと繋げることができなかったこと、英語の質問の意味はなんとなく分かるけれども正しく書き取ることができない生徒が目立ったことが挙げられる。教師も生徒もお互い距離をとりマスクをした状態だったため、表情や口の動きが見えなかったということも多少影響しているだろうが、コミュニケーションの基礎となる聴き取る力を強化していく必要性を強く感じた。

２・３学期は、授業冒頭で状況描写活動やリスニング活動をさせ、多様な表現方法や問題形式に慣れさせていった。反復的な練習を通して着実にスピーキング力をつけさせることを目的とし、趣味について話をするなどの身近な内容に関する会話に始まり、イラストの描写、相手と交渉して折り合いをつけるなど、少しずつ難易度を上げながら活動を継続することで力をつけつつある。また、スピーチやディスカッションで自分の意見をまとめる際にはブレインストーミングの手法を用いて、多角的に物事を捉えられるように指導した。うまく英語で伝える自信がなかったり過度の緊張感をもったりする生徒が最初は多かったが、様々な意見を肯定的に受け止め、話し手と聞き手が共になって参加できる雰囲気を大事にしていくことで、積極的に意見を伝えようとする生徒が増えたように思われる。スピーチの原稿作成の過程においては、内容や構成について個々に指導をすることでそれぞれの生徒が抱える課題に対して丁寧に指導することができた。生徒たちは少しずつ習った表現を使いながら力をつけているが、型にはめずに自由に表現する場ではまだまだ堅さがみられる。発言の場に慣れさせること、知っている表現を駆使できるようにすることを継続的な課題として、今後も取り組んでいきたい。

＜授業の振り返り＞

生徒にグローバル英語の授業についてアンケートをとったところ、以下のような意見が寄せられた。

〇英語の音を前よりうまく聞き取れるようになり、また気になった英単語を積極的に調べるようになりました。ただ自分の言葉を英語で表現することはまだうまくできていないので、これから努力して改善していこうと思います。伝えたい言葉が英語で伝えられないときに、固まってしまう癖もなおしたい。

○中学では英語を使って話す機会もほとんどなかったし、授業のほとんどを英語で説明されることもなかったからすごく新しい経験で楽しくて少し英語が好きになりました。英語で話すとき「～だから」という理由づけが大切だとわかっていろんなテーマに理由をつける活動をしたりして、まだまだ知らない表現とか単語とかもあって自分が言いたいことを相手に英語で伝えるのはすごく難しいと思いました。でも英語を話せるといいと思うし、海外にも出てみたいので、２学期からもっと勉強してうまく話せるようになりたいです。

○私は高校生になるまで英語で話すのがとても苦手でした。緊張して言葉が出なかったり、声が小さくなったりしてしまって、だんだん自信もなくなっていたのですが、はじめてグローバル英語の授業を受けて、周りのクラスメートがハキハキ話していたり、先生方もすごく優しくて明るくて、とても安心し、自信もつきました。次の学期にはもっと積極的に発言できるように頑張りたいです。

○中学生の時は英語を話すことがとても苦手だったし恥ずかしいからと思い、あまり話すことができなかったけれど、クラスの雰囲気がとても良かったので、話すことに対する恥ずかしさは無くなりわからない単語は多かったけれど、英語でしっかり自分の思いを伝えることができるようになった。たくさん話していくと、もっと自分の思いを素直に言いたいと思ってきたので単語をもっとたくさん覚えて、相手とスラスラ話せるようになりたい。今はまだ文法もあまり関係なく話してしまっているので、今後の授業で文法も気にしつつ、外国の人たちと話せるような英語力をつけていきたい。

○今までは文法がよくわからないと止まってしまって表現できなくなったけれども、「間違ってもいいから」と言ってもらったので今までよりも（文法の間違いはあると思うけれども）たくさん表現できるようになった。また、積極的に英語を使うようになったと思う。ペアワークでは、話す内容がなくならないように、無言でいる時間をできるだけなくすことができた。今後できるようになりたいことはALTの先生が２回読む英文を１回目のナチュラルスピードで聞き取ることだ。そのためには日頃から英語をたくさん聞いて、はやさに慣れるということが大切だと思った。とにかく毎回の授業が楽しかった。

○中学の時は、自発的に英語を話すことはなかったが、グローバル英語の時間は、積極的に友達と英語で話すことができた。今後は、授業中にもっと積極的に発表できるようになりたい。使える英語の表現や語彙数を増やし発音も意識していきたい。

○中学校の時よりも友達とのペアワークで話せるようになって良かったと思います。手をあげて先生方の質問に答えることができたので嬉しかったです。その回数を少しずつでも増やしていけるように頑張りたいです。でも、問題のリスニングの後、自分の考えを書くときに単語がわからなすぎて自分の思いをかけないことも多いので、もっと単語を覚えようと思いました。

○ALTの先生が言っていることを理解しようと頑張ったけれども、半分くらいしか理解できなくて、次に何をすればいいのかわからないことがよくあった。ペアワークでは自分の言いたいことを英語で言うのがとても難しかった。日本語だと言える

ことが英語だと表現の仕方や単語がわからないので大変だった。今後はもっと積極的に発言をして行けたらいいなあと思った。

〇授業中に挙手して発表する場面では、積極的に手を挙げることができたと思う。グローバル英語を通して自分のできる限りの英語を使って、相手により多くの情報を与えようとする姿勢が身についた。これからは英語でディベートができるようになりたい。